



男性用トイレ 洗面・大便器

金沢工業大学 扇が丘キャンパス 20号館 / 第二体育館

自ら考え行動する技術者を育成し、社会から信頼・必要とされる工学アカデミアの実現を目指す大学

野々市市の拠点避難所に指定され、学生の課外活動である防災・減災プロジェクト「SoRA」など、地域との交流活動も行われている。南校地の第二体育館には災害配慮トイレ「レジリエンストイレ」が県内初設置された。洗浄水量の切り替えができ、災害時もいつものトイレを使えるようになっている。また、北校地全体が日本建築学会作品賞を受賞し、1号館は「日本におけるモダン・ムーブメントの建築226選」に選ばれている。

DATA

施主：学校法人金沢工業大学
 施工：池田建設株式会社
 所在地：石川県野々市市扇が丘7-1
 改修・供用：2020年3月

商品情報

- <一般トイレ>
- レジリエンストイレ : BC-P112SA・DT-PB150CH
- シャワートイレ : CW-PA11FL-NE
- 小便器 : U-A51AP
- 小便器用手すり : KF-701AE
- 洗面器 : L-A951A2C
- <多機能トイレ>
- 大便器 : BC-950SK・DV-K213KF-CK-URJ-P
- オストメイト流し : PTOM-A210TLW
- 洗面器 : L-A951A2C
- 跳ね上げ手すり : KF-471EH70
- 背もたれ : KFC-275T1U



外観



平面図

掲載内容及び写真・図版の無断転載はかたくお断りします。(許可なく転載・流用した場合、損害賠償が発生します。)

第二体育館・避難場所表示看板



メインの避難所となる第二体育館には、食料や生活用品が備蓄され、災害時には自宅が被害を受けた方々が一時的に生活できる場所として利用される。

施設管理者様の声

金沢工業大学扇が丘キャンパスは金沢市に隣接した野々市市の住宅密集地に所在し、市内10箇所に設けられた拠点避難所の1つに指定されている。災害時は第二体育館をメインの避難所に設定するが、快適な空間となる様に数年前より段階的に空調設備を導入、水回りの老朽化に伴い今回はレジリエンストイレを導入した。石川県内では最初の導入事例となる。自治体では災害用トイレの設置が進んでいるが、最寄りの大規模な避難所に使い易いトイレがあれば安心して利用出来ると思い、LIXIL担当者からの薦めもあり導入に踏み切った。

金沢工業大学では学生の課外活動である『防災・減災プロジェクト SoRA』により、日頃から市民への防災知識の普及や意識の高揚に取り組んでいるが、この度のレジリエンストイレの設置にあたり、LIXIL担当者から使用方法などの具体的なレクチャーを受けており、今後市民を対象とした防災勉強会の企画立案に生かしていく考えである。

学校法人金沢工業大学 施設部施設課 岡村秀紀

入り口まわり

男性用トイレ

女性用トイレ



男性用トイレサイン

女性用トイレサイン



男性用・女性用共に断水にも配慮されたレジリエンストイレを採用。洗浄水量を5Lから1Lに切り替えることで、いつものトイレを災害時でも使用できる。入り口には、災害時にも使用可能なトイレであることを表したプレートを設置。学内の女性用トイレは防犯性やプライバシーの保護を考え、大便器ブースの壁を天井まで立ち上げている。



多機能トイレ

1号館



車椅子ユーザーや介助者の動きを考慮したスペースを確保。オストメイト専用の流し、移乗や座位の安定を助ける背もたれや手すりを設置し、誰もが利用しやすいトイレに。



1969年に竣工した1号館は「日本におけるモダン・ムーブメントの建築226選」に選ばれた。また北校地全体は日本建築学会作品賞を受賞。設計者は大谷幸夫氏。